

いくらか計算にいれると主張せられて居る。かくして、道路使用者は彼等が道路に對して被らしめたる損傷度に比例して納税することになる。でないにしても、兎に角彼等が現行税制の下に於て納税して居るよりも遙るかにそれに近い程度に公平に納税することになるだらう。

曰く、發動機燃料の供給の殆んど全部がタンク詰にせられて外國から英國の諸港に輸入せられるのであるから、管理並に徴收費は大して必要ではない。而してかくの如く輸入品は現在の税關官吏に依つて容易に處理され得る。脱税は他の諸税制に於けるよりも難しいと云はれて居る。

新税に賛成して、更に突き込んだ議論をなすものがある。曰く、この案は不定期に道路を使用する者に取つて一大恩典である。曰く「延哩數の長い運輸業者」は道路費の公平なる負擔から逃れられ得ないだらう。又曰く、建造技師の注意は燃料消費節約の方に向けられるから、従つて産業の利益となるに違ないと。(此章未完)

◎官廳用自動車の制限

是も緊縮内閣成立後の悲慘、井上藏相の發議で各省官廳が使用してゐる自動車に制限することに爲つた、昨日までは威風?堂々と乗り廻してゐた連中はテク黨と早變り、奮發して一圓タクシーに乗つたか逆も危くつて乗心地が悪い、矢張り電車が一番安全だと、吊皮黨で満足してゐる連中もあるかと思へば、月極め自動車を契約して永年馴れた乗車氣分を慰安してゐる連中もある。

一方、各省廳の自動車部室では、折角の自動車にも乗つては呉れず、ソーかと言つて夫れを賣りもせず、勞働問題が恐ろしいと言ふのか吾々を解職もしない、忙がしいときに碁や將棋をうつのは一種の興味があるが、ヨ一朝から晩まで碁や將棋をしてゐても、何時滅首されるか判らないと、思へば尻襟ばいと省内の此處や彼處に付んで、元氣よく表を走つてゐる圓タクを怨んで居る態。

此有様を見た井上藏相曰く、財政緊縮の爲に自動車を制限した譯ぢや無い、遲緩してゐる人心を緊縮する爲だ、と、理由ばドチラにしても可い、折角買った自動車を車庫に納め、運轉手を遊ばして置いて、夫れが經費の節約とはならぬ、自動車に乗らせば官吏が居眠つて人心が遲緩するでも思つたのだらうか、科學の産んだ新式交通用具も使はないでテクツテ居るこそ遲緩だ!痴漢だ、人の足が弱くなるから電車に乗るな、と言ふのと同じだ、こんな子供購式では折角の緊縮も駄目、モ一少しお考へなさい(た)